

## タンクキャップ・ガスケット R50/5-R90S・/6

当時のガスケット材質は本革製ですが現在入手できるものはラバーコルクと呼ばれる合成コルク製のようです。先日、給油後にガソリンが滲むとのことでガスケットを手配しました。交換した翌日には画像のように外れかかっていました。耐油性に劣るようで再手配したもので同じ結果でした。



当時モノ皮革製



段付き硬化



純正補修部品



燃料に濡れるとたちまち



膨潤のため内径が広がる



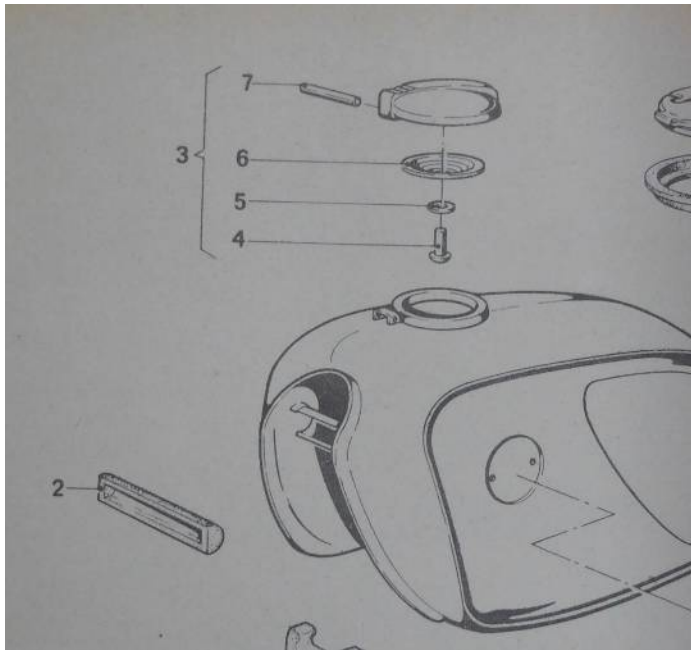
ガソリン揮発後は徐々に戻る

外した皮革製ガスケットも漏れを起こし再交換が出来ないのでガスケット業者に相談して最適素材で製作しました。バイトンとも呼ばれるフッ素ゴムシートは耐油、耐薬品性が高く、ガスケット素材として広く流通しています。

コルクや皮革は柔軟性に乏しいのでBMWではベースプレートと一体で部品設定しています。

純正品の交換にはガスケットを固定しているリベットを一旦外し、交換後に再度打ち込むためキャップがタンクに装着されている状態では作業が困難です。当店製ガスケットは柔軟性のあるラバーなので古いガスケットを引き抜いた後に隙間に差し込むだけで作業完了です。キャップを開けて、締めるまでほんの30秒足らずです。

**CRIMECA**



パーツリストより 前ヒンジで表示



フッ素ゴム製ガスケット

**1969年の車両販売当初はタンクキャップのヒンジは前ヒンジでしたが少子化対策(!?)で後ヒンジに変更されました。**

**タンクキャップ・ガスケット フッ素ゴム製 R50/5-R90/6-R90S**  
(参考部品番号 1611 1230 603) メタルプレートは付属しません。

**ラバーガスケット ￥1,200**

**CRIMECA**